

# 中国語入力のための設定例

## - 目次 -

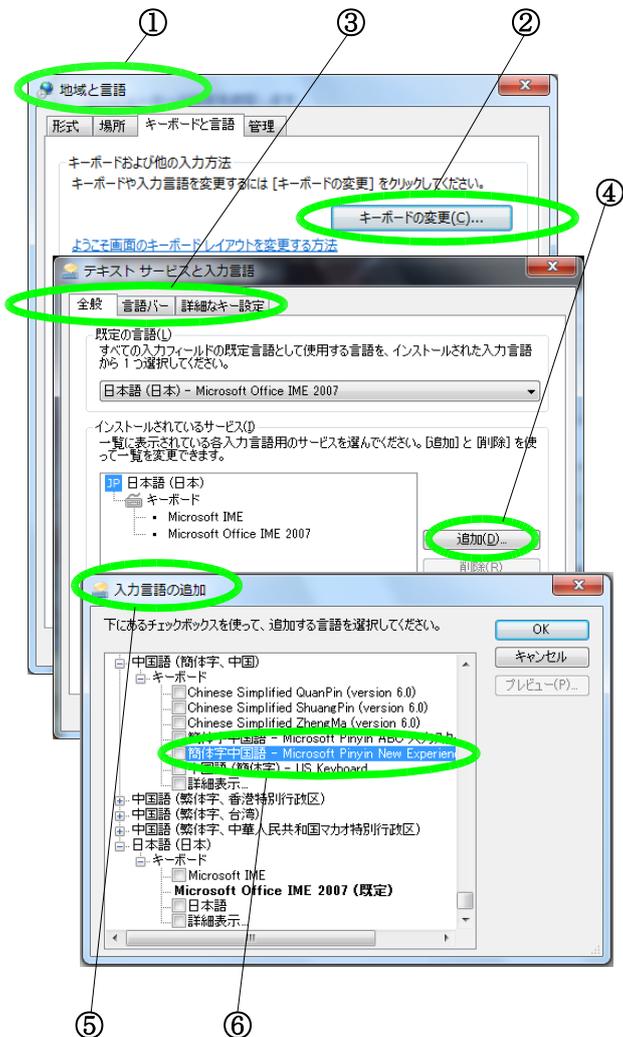
### 中国語の入力方法

- a. Windows 7 での設定例 . . . 1
- b. Windows Vista での設定例 . . . 3
- c. Windows XP での設定例 . . . 5

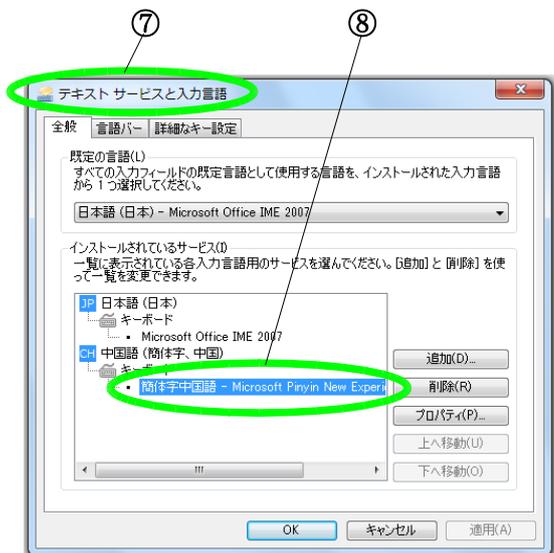
# 中国語入力のための設定例

「単語・シート処理」の単語追加、または、直接単語シートに中国語を追加する場合に必要な中国語の入力方法の例を紹介します。なお、パソコンの環境によっては、操作が違う場合があります。

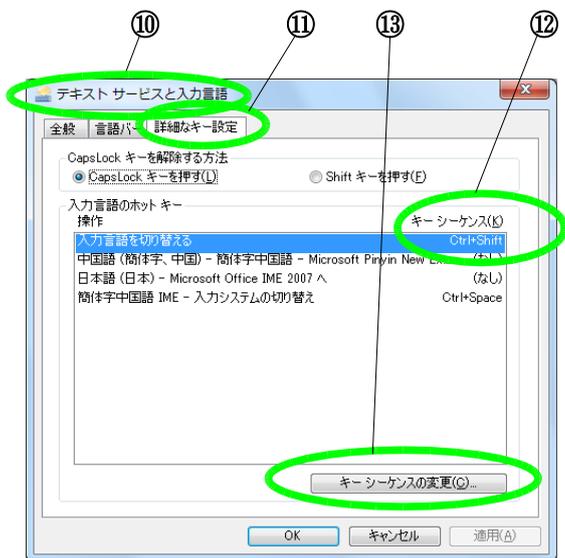
## a. Windows 7での設定例



1. Windows 7の「コントロールパネル」から、「時計、言語、および地域」をクリックし、次に、「地域と言語」をクリックして、「地域と言語」ウィンドウ①を開きます。
2. 「地域と言語」ウィンドウ①では、タブの「キーボードと言語」をクリックします。次に、「キーボードの変更」②をクリックして、「テキストサービスと入力言語」ウィンドウ③を開きます。
3. 「テキスト サービスと入力言語」ウィンドウ③では、「追加」ボタン④をクリックして、「入力言語の追加」ウィンドウ⑤を開き、「中国語（簡体字、中国）」を展開し、「中国語（簡体字）-Microsoft Pinin New・・・」⑥をチェックして「OK」ボタンをクリックします。

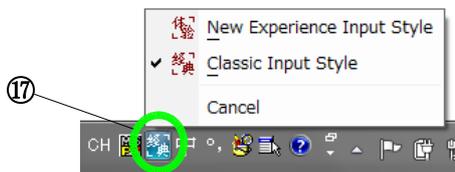


5. 「テキスト サービスと入力言語」ウィンドウ⑦ に、入力言語として「中国語（簡体字、中国）」⑧が追加されます。



6. 「詳細なキー設定」タブ⑩の例では、「キーシーケンス」⑫が、『Alt』+『Shift』になっています。このキーを押すことで、日本語と中国語の入力モードを変更できます。

また、「キーシーケンスの変更」ボタン⑬をクリックして、『Ctrl』+『Shift』に、キーシーケンスを変更することができます。



## 7. 入力モードの切り替え

ー キーシーケンスを使用して切り替える場合

中国語入力モードへの切り替えに、『Alt』+『Shift』キーを用いることを前提にして説明をします。

左図の言語バー⑭のように、中国語入力状態になります。

言語バー⑮のように、「英」の状態になっていた場合は、『Shift』キーを押して言語バー⑭に変更します。言語バー⑮の「英」の字をクリックしても変更できます。

また、日本語モードに戻す時も『Alt』+『Shift』キーを押すします。

ー 言語バー⑯を使用して切り替える場合

「JP」をクリックすると、メニューが表示されますので、

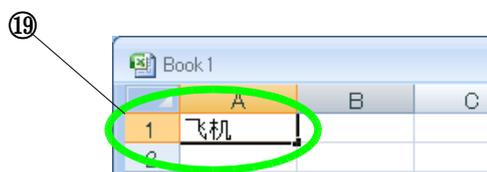
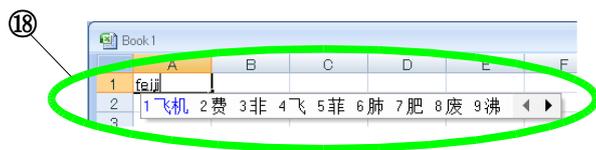
「CH 中国語(簡体字、中国)」をクリックします。

そうすると、言語バー⑭か⑮の状態になり、中国語入力状態になります。

ー 入力スタイルの決定

言語バーの⑰をクリックして入力スタイルを決定します。

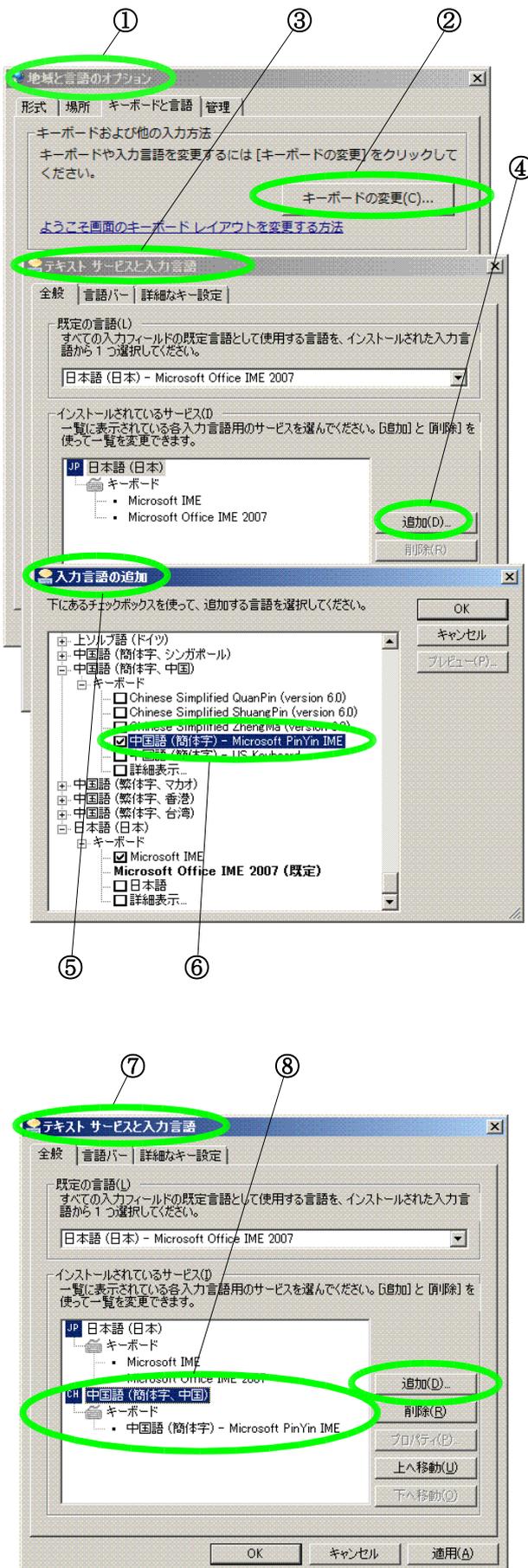
ここでは、「Classic Input Style」を選択しています。



## 8. 中国語の入力例

上記の設定で中国語入力モードにして、Excelのシートに「feiji」と入力し、『Space』キーを押してから、『→』キーを押すと、左図のように単語の候補が表示されます⑱。他の候補へ移動する場合は、表示された候補の前の数値を打ち込むか、『↓』キーを使用します。文字の選択が確定したら『Space』キーを押してから『Enter』キーを押します。候補を表示する必要がない場合は、『Enter』キーを押すことで、⑲のように単語を確定できます。

## b. Windows Vistaでの設定例

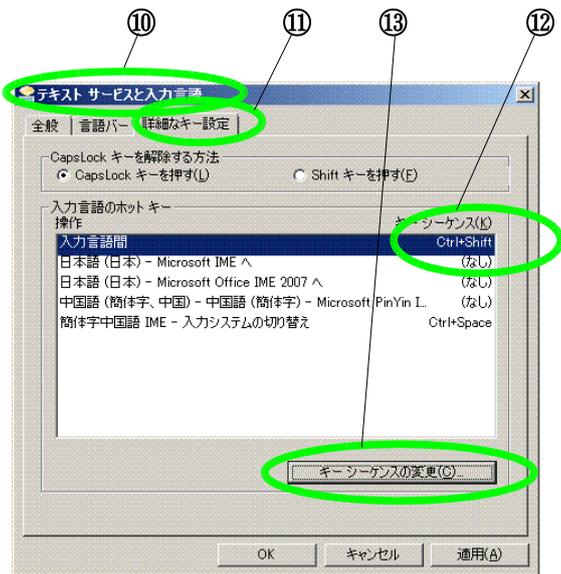


1. Windows Vistaの「コントロールパネル」から、「時計、言語、および地域」をクリックした後、「地域と言語のオプション」をクリックして、「地域と言語のオプション」ウィンドウ①を開きます。「コントロールパネル」をクラシック表示にしている場合は、「地域と言語のオプション」をダブルクリックして、「地域と言語のオプション」ウィンドウ①を開きます。

2. 「地域と言語のオプション」ウィンドウ①では、「キーボードと言語」タブをクリックし、「キーボードの変更」②をクリックして、「テキスト サービスと入力言語」ウィンドウ③を開きます。

3. 「テキスト サービスと入力言語」ウィンドウ③では、「追加」ボタン④をクリックして、「入力言語の追加」ウィンドウ⑤を開き、「中国語(簡体字、中国)」を展開し、「中国語(簡体字)-Microsoft Pinin IME」⑥をチェックして「OK」ボタンをクリックします。

5. 「テキスト サービスと入力言語」ウィンドウ⑦ に、入力言語として「中国語(簡体字、中国)」⑧が追加されます。



6. 「詳細なキー設定」タブ⑪の例では、「キーシーケンス」⑫が、『Alt』+『Shift』になっています。この2つのキーを押すことで、日本語と中国語の入力モードを変更できます。

また、「キーシーケンスの変更」ボタン⑬をクリックして、『Ctrl』+『Shift』に、キーシーケンスを変更することができます。



### 7. 入力モードの切り替え

－ キーシーケンスを使用して切り替える場合

中国語入力モードへの切り替えに、『Alt』+『Shift』キーを用いることを前提にして説明をします。

左図の言語バー⑭のように、中国語入力状態になります。

言語バー⑮のように、「英」の状態になっていた場合は、

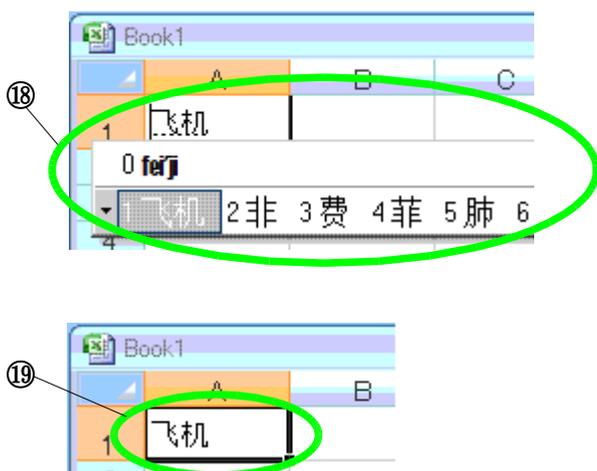
『Shift』キーを押して言語バー⑭に変更します。言語バー⑮の「英」の字をクリックしても変更できます。また、日本語モードに戻す時も『Alt』+『Shift』キーを押します。

－ 言語バー⑯を使用して切り替える場合

「JP」をクリックすると、メニューが表示されますので、「CH 中国語 (簡体字、中国)」をクリックします。そうすると、言語バー⑭か⑮の状態になります。

－ 入力スタイルの決定

言語バーの⑰をクリックして入力スタイルを決定します。ここでは、「Classic Input Style」を選択しています。

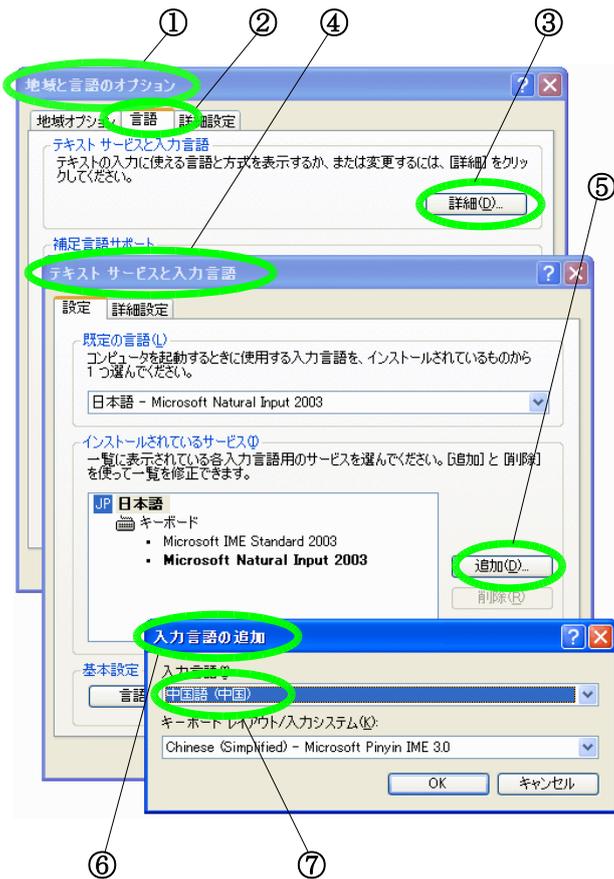


### 8. 中国語の入力例

上記の設定で中国語入力モードにして、Excelのシートに「feiji」と入力し、『Space』キーを押してから、『→』キーを押すと、左図のように単語の候補が表示されます⑱。他の候補へ移動する場合は、表示された候補の前の数値を打ち込むか、『↓』キーを使用します。文字の選択が確定したら『Space』キーを押してから『Enter』キーを押します。

候補を表示する必要がない場合は、『→』キーを押す前に『Enter』キーを押すことで、⑲のように単語を確定できます。

### c. Windows XPでの設定例



1. Windows XPの「コントロールパネル」で、「日付、時刻、地域と言語のオプション」をクリックした後、「地域と言語のオプション」をクリックして、「地域と言語のオプション」ウィンドウ①を開きます。「コントロールパネル」をクラシック表示にしている場合は、「地域と言語のオプション」をダブルクリックして、「地域と言語のオプション」ウィンドウ①を開きます。

2. 「地域と言語のオプション」ウィンドウ①では、「言語」タブ②を選択し、「詳細」ボタン③をクリックして、「テキスト サービスと入力言語」ウィンドウ④を開きます。

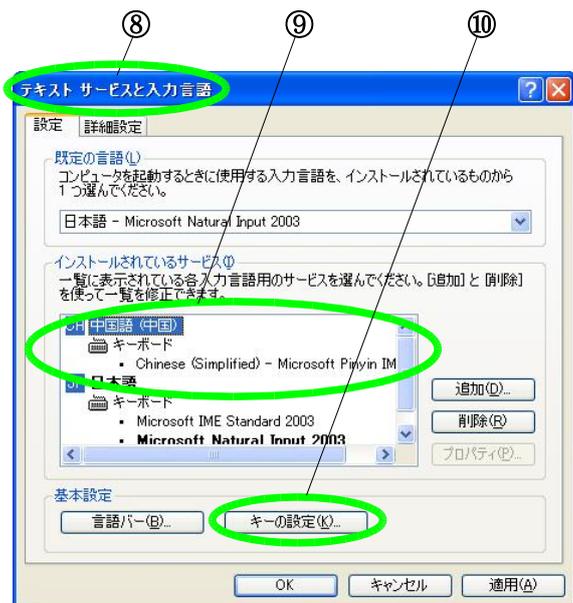
3. 「テキスト サービスと入力言語」ウィンドウ④では、「追加」ボタン⑤をクリックして、「入力言語の追加」ウィンドウ⑥を開きます。

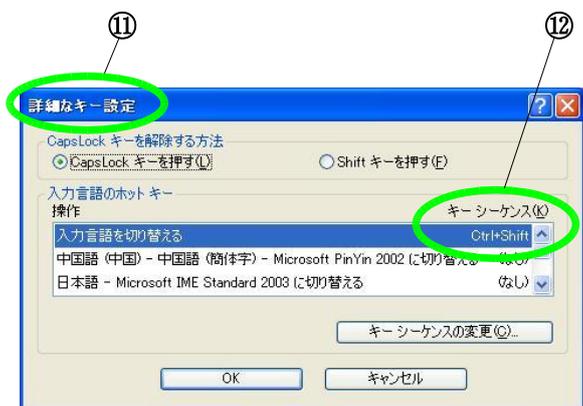
4. 「入力言語の追加」ウィンドウ⑥では、「中国語(中国)」⑦ を選択し、「OK」ボタンをクリックして、「テキストサービスと入力言語」ウィンドウ⑧に戻ります。

5. 「テキスト サービスと入力言語」ウィンドウ⑧ に、入力言語として「中国語(中国)」⑨が追加されました。

「キーの設定」ボタン⑩では、日本語入力モードと中国語入力モードの切り替えをキーボードを用いて行なうための設定を行なうことができます。

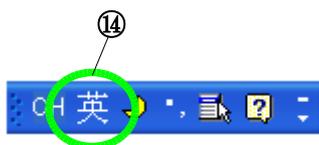
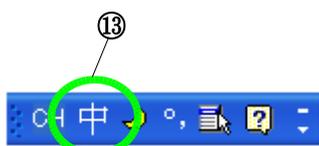
「キーの設定」ボタン⑩をクリックして、「詳細なキー設定」ウィンドウ⑪を開きます。





6. 「詳細なキー設定」ウィンドウ⑪の例では、「キーシーケンス」が、『Alt』+『Shift』になっています。この2つのキーを押すことで、日本語と中国語の入力モードを変更できます。

また、「キーシーケンスの変更」ボタン⑬をクリックして、『Ctrl』+『Shift』に、キーシーケンスを変更することができます。



### 7. 入力モードの切り替え

ー キーシーケンスを使用して切り替える場合

中国語入力モードへの切り替えに、『Alt』+『Shift』キーを用いることを前提にして説明をします。

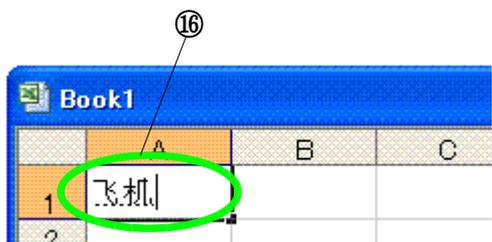
左図の言語バー⑬のように、中国語入力状態になります。言語バー⑭のように、「英」の状態になっている場合は、『Shift』キーを押して言語バー⑬に変更します。言語バー⑭の「英」の字をクリックしても変更できます。また、日本語モードに戻す時も『Alt』+『Shift』キーを押します。

\*:特に、⑬、⑭には注意してください。中国語を入力しようとしても⑭の状態になっていることがよくあります。



ー 言語バー⑮を使用して切り替える場合

「JP」をクリックすると、メニューが表示されますので、「CH 中国語(中国)」をクリックします。そうすると、言語バー⑬か⑭の状態になります。



### 8. 中国語の入力例

上記の設定で中国語入力モードにして、Excelのシートに「feiji」と入力し、『Space』キーを押してから、『→』キーを押すと、左図のように「飞机」⑯と他の単語の候補が表示されます⑰。他の候補へ移動する場合は、表示された候補の前の数値を打ち込むか、『↑』キーを使用します。文字の選択が確定したら『Space』キーを押してから『Enter』キーを押します。

候補を表示する必要がない場合は、『→』キーを押す前に『Enter』キーを押すことで、単語を確定できます。

